

令和元年度第3回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 令和2年2月18日(火)午後3時～午後4時

場所 南丹市国際交流会館 2階 第1・2研修室

出席者(順不同、敬称略)

社会教育委員 麻田健治、伊藤雅史、宇野 齊、大嶋久美子、岡島賢峰、北村友子、
小南 仁、清水範子、中野愛子、原禰秀幸

市教育委員会 木村教育長、寺田社会教育課長、辻課長補佐、浅田課長補佐、
木上生涯教育係長、村上社会体育係長、西図書館係長、
井尻文化財保護係長、奈木野主査、矢野主事

傍聴人 0人

1 開会

2 あいさつ 木村教育長、中野代表

3 協議事項

(1) 今年度社会教育事業の進捗状況について

○「社会教育事業体系」から

図書館係

① 読書活動推進計画について

第2次南丹市子どもの読書活動推進計画

0歳から将来にあたって家庭、地域、学校等が子どもたちの読書活動に関わっていきこうという計画である。

1月30日から2月18日までパブリックコメントを募集した。

生涯教育係

① 園部・八木公民館について

4月1日から園部公民館、八木公民館の名称が園部文化会館、八木市民センターに変更することに伴い、愛称を募集した。第2次選考にご協力をお願いする。1月31日応募の時点で、園部34点、八木29点、計63点の応募があった。南丹市文化協会の理事に第1次選考をしていただいた。

工事の進捗状況は、園部文化会館については令和3年度から開館。現在、1年目の工事を行っており、既存部分の撤去工事を進めている。そして、八木市民センターは八木支所の3階に公民館機能を移転する工事を今年度中に終わるように進めている。令和2年4月

1日にリニューアルオープンする。市民のみなさんには2月14日のお知らせをなんとんで周知している。また、2月18日の午前9時から施設利用の予約も八木公民館で受け付けている。

○質疑応答

(委員) 公民館の使用料はどうするのか。

(事務局) 公民館という冠を外して条例を改正し、旧4町の統一性を保つため、金額の改正を行った。

②放課後児童クラブの運営について

令和元年度482名の登録がある。次年度の募集の手続きを終えて、決定の手続きを行っている。また、今年度内に八木東小学校内の工事が始まる予定となっている。

○質疑応答

(委員) たんぼぼ放課後児童クラブは次年度もさらに増えると思う。園部小学校の敷地内へ移動し、旧摩気小学校より利便性はあるが、どのように決められたのか。

(事務局) 旧摩気小学校も環境は非常に良かったが、6年生まで受け入れるようになったため人数が多くなったこと、小学校の近くに放課後児童クラブを設置すべきという国が定める方針などを含め、児童クラブを移設することとなった。約200人規模の施設である。あわせて、放課後児童クラブの近辺に、第3の居場所ということでB&G財団が社会貢献を図るため、様々な子どもたちに対応できるような施設を設置していく予定である。

③人権教育の取り組みについて

人権教育講座を年3回開催した。1回目は中尾勇守さんの講演会で延べ86名、2回目は映画「手紙」を上映し、延べ128名、3回目は関西大学名誉教授石元清英さんの講演会で延べ93名の参加があった。

南丹市人権教育啓発推進委員を対象とした研修会、また、視覚聴覚障害者を対象とした成人講座も開催している。

文化財保護係

①園部藩立藩400年の取り組み

展覧会を南丹市文化博物館、郷土資料館合わせて8回開催している。また、ケーブルテレビでは9回に分けて園部藩の歴史を放送した。

文化財の保護事業に関して、国の登録文化財の調査を行い、令和元年12月5日美山町の蓮乗寺が国の文化財に指定された。また、徳雲寺の藩主像を南丹市指定文化財に一括指

定した。伝統的建造物保存地区の修繕13件、かやぶき民家保存修理事業4件、南丹市文化財と保護事業で35件を実施した。

現在は日本遺産の申請を提出し、5月に結果が出る予定である。また、令和元年度の大嘗祭に八木町氷所が選ばれた。現在、京丹波、亀岡、南丹エリアで日本遺産を申請している。

○質疑応答

(委員) 今までの石田家住宅の経過を教えてください。

(事務局) 国の重要文化財に指定されており、年号が分かる集落の中では日本最古の住宅である。建物だけが残っている状態であるので管理を美山町檜原区の方に2年ほど前から委託していたが、現在は石田家住宅保存会に委託している。令和2年度から屋根の修理を行うための予算を組んでいる。

社会体育係

①スポーツ推進計画アクションプラン(案)

平成30年4月に作成された南丹市スポーツ推進計画に基づくアクションプランの作成を進めた。当計画は、市のスポーツ推進の方向性を示し、推進計画を具体的にし、各分野のビジョンなどスポーツ施策を示したものである。作成にあたって、スポーツ協会の加盟競技団体や、スポーツ少年団、市の小・中学校の体育連盟など関係団体にも協力いただいている。また、パブリックコメントも募集している。

推進計画の基本理念にあるように体力や目的等に応じて誰もがいつでもどこでも身近にいつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツの推進を図ることで、市民一人一人が健康でいきいきと元気な生活を送れると同時に、地域社会に絆の深まりを作り上げていくことで、スポーツを楽しめるようアクションプランを進めている。また、スポーツ推進を円滑に遂行するために資料を作成した。

(2) 文化活動・スポーツ活動コラボ事業について

トライアスロン大会では写真部の方に競技中の様子や、色んな角度から写真を撮影していただき、各町の文化祭や工芸文化祭で出展してもらった。また、歴史ウォーキングを開催し、歩きながら文化財をめぐるツアーを行った。次回もぜひ社会教育委員の皆さんにご参加いただきたい。

(3) 地域学校協働活動推進員の配置について

今年度小中学校11校の推進員さんの配置が決定した。地域や学校と連携を取りながら活動を進めてもらっている。どのような活動を行っていくのが良いのか、推進員さんにも学んでもらうために、大阪府河内長野市へ行き、地域コーディネーター大谷由美子さんにご

講演をいただくなど研修会を実施した。

(4)「生涯学習便り」の発行について

社会教育課の事業や、社会教育施設に配架している。市民の方からは好評で、社会教育課が開催しているイベントなどをたくさんの方に知っていただいた。また、来年度に向けて、見て楽しい、分かりやすい広報を作成できたらと考えている。そして市のHPなど色々な方法で広報を行っていききたい。

4 報告事項

◇全国社会教育研究大会兵庫大会 10月24日、25日

(中野代表、大嶋委員、岡島委員、北村委員が参加)

◇京都府社会教育委員研究大会 11月22日

(中野代表、清水副代表、大嶋委員、岡島委員が参加)

5 その他

○今後の予定

◇南丹地区社会教育委員研修会 2月25日

6 閉会 清水副代表